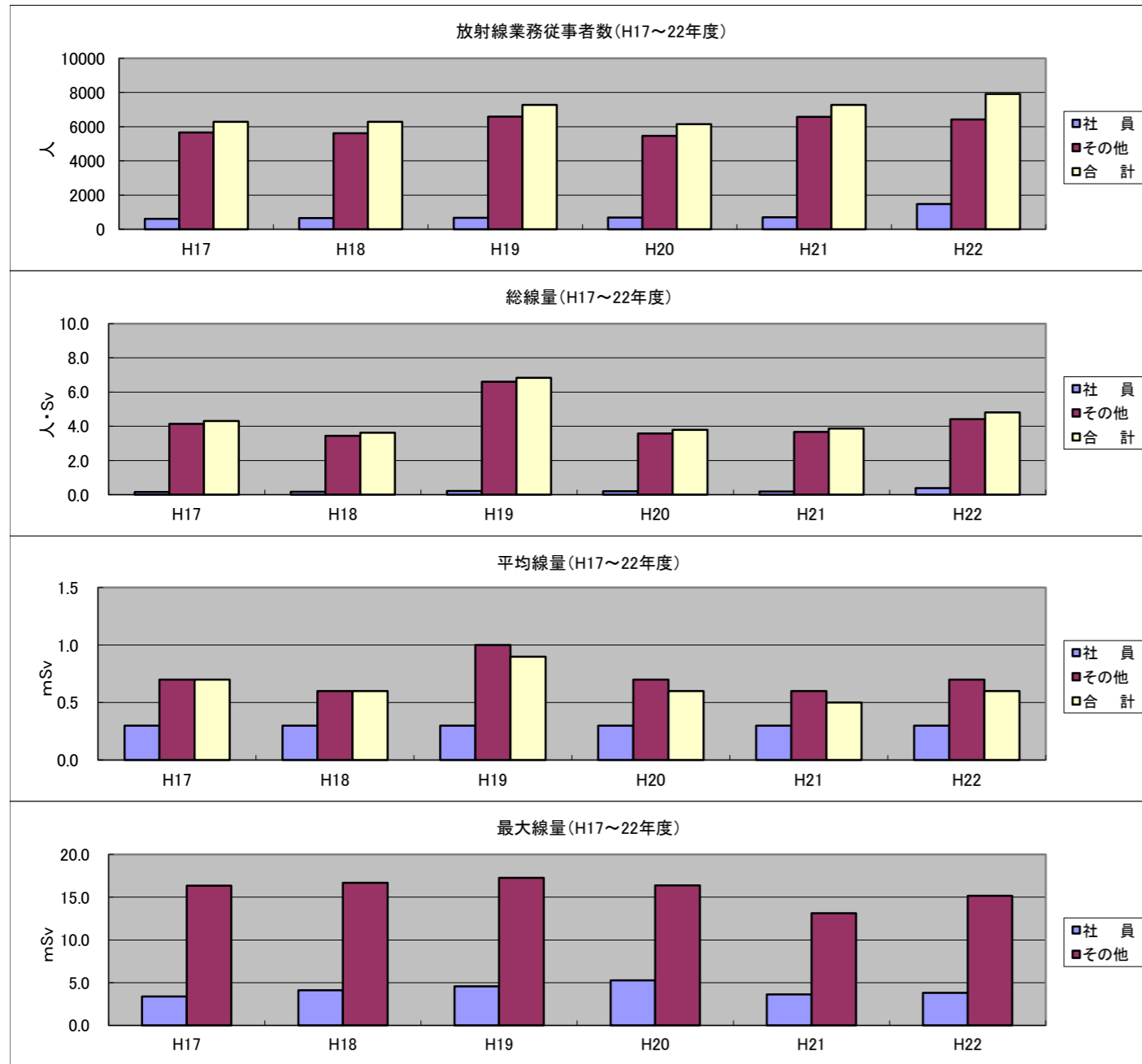


福島第二原子力発電所 放射線業務従事者数および線量状況について(H22年度)

平成24年9月

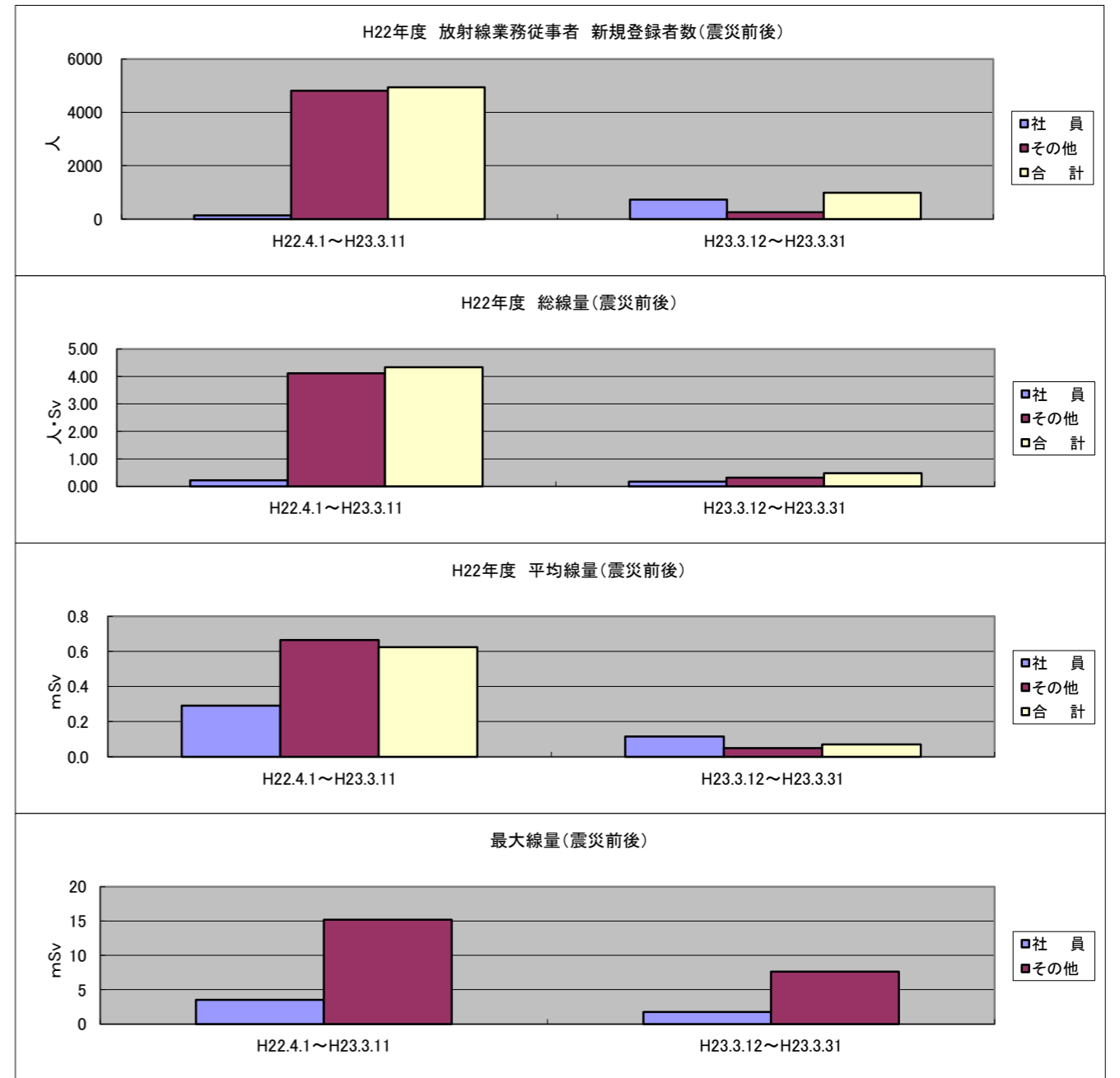
放射線業務従事者線量等報告書(平成17～22年度)



《H17～H22年度の線量比較》

- ◆H22年度の放射線業務従事者数は、震災対応により社員が倍増(H21:699人→H22:1486人)しており、これにより、社員分の総線量も倍増(H21:0.19Sv→H22:0.39Sv)している。
- ◆H22年度の平均線量は、過去5年と同程度となっている。
- ◆H22年度の最大線量は、年間20mSvの超過はなく、過去5年と同程度となっている。

H22年度 震災前後の比較



《震災前後(H23.3.11以前・H23.3.12以降)の比較》

- ◆社員の新規登録数については、震災前136人から、震災後730人と登録者数が大きく増加している。これは、配電部門などの震災時の応援者が2F作業に従事したことにより増加している。企業登録数については、震災後の登録者数は251名となっている。
- ◆総線量については、社員分は、震災前0.22mSv、震災後0.17mSvで、震災後の短期間で震災前と同程度の線量が発生している。これは、1F事故により、構内の線量が上昇したことと上記の通り、応援者が来所し、従事者数が倍増したためである。企業分については、震災前は定期検査を実施していたことから、震災前の線量が多い。
- ◆震災後の最大線量は、社員1.77mSv、企業7.64mSvで1F事故影響により、構内での線量が大きく寄

福島第二原子力発電所 放射線業務従事者数および線量状況について(H22年度)

平成24年9月